

2023 年度核兵器廃絶市民講座

核兵器のない世界をめざして

日 時:4 月 22 日(土) 13:30~15:00

会 場:国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジ&オンライン(Zoom ウェビナー)

テーマ:「G7 広島サミットを前に」

13:30~13:35

開会あいさつ

調 漸

核兵器廃絶長崎連絡協議会 会長

13:35~14:40

講演

「G7 広島サミットを前に」

吉田 文彦

長崎大学核兵器廃絶研究センター長

西田 充

長崎大学多文化社会学部教授

金崎 由美

中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長

14:40~14:50

会場質疑応答

14:50~15:00

オンライン質疑応答

講師 プロフィール

吉田 文彦(長崎大学核兵器廃絶研究センター長)



1955年京都市生まれ。東京大学文学部卒、朝日新聞社入社。2000年より論説委員、論説副主幹。その後は、国際基督教大学(ICU)客員教授、米国のカーネギー国際平和財団客員研究員など。主な著書は、『核解体』『証言 核抑止の世紀』『核のアメリカ』。大阪大学にて博士号(国際公共政策)取得。

西田 充(長崎大学多文化社会学部教授)



専門は、軍備管理・軍縮・不拡散。主な著書は、『核の透明性—米ソ・米露及びNPTと中国への適用可能性』(単著)、『NPT—核のグローバル・ガバナンス』(共著)。外務省にて長年軍縮不拡散分野に従事(在米日本国大使館、軍備管理・軍縮課、ジュネーブ軍縮会議日本政府代表部、不拡散科学原子力課など)。ミドルベリー国際大学院モントレイ校で不拡散を専攻。一橋大学で博士号(法学)取得。

金崎 由美(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長)



北海道生まれ。北海道大法学部卒。1995年中国新聞社入社。岩国総局、東京支社、報道部、論説委員室などを経て2020年から現職。連載「グレーゾーン 低線量被曝の影響」で2017年科学ジャーナリスト大賞共同受賞。2020年新聞協会賞受賞「ヒロシマの空白 被爆75年」取材班代表。著書にサーロー節子自伝「光に向かって這っていけ 核なき世界を追い求めて」(本人との共著、岩波書店)